

臨床医学教育学

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	0人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	2人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	0人
合 計	2人

1-2 教員の異動状況

五十嵐 寛(特任准教授)(H11.7.1~17.6.30 麻酔科蘇生科 助手;H17.7.1~23.6.30
講師;H23.7.1~現職)
外村 和也(特任助教)(H27.4.1 ~現職)

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1) 研究・開発等のテーマ名	アクティブラーニングを取り入れた麻酔科成果基盤型教育プログラムの開発
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	医学教育国際認証の要件である成果基盤型教育の最大の問題点である教員への負担を減らすと同時に教育の質の向上を目指し、シミュレーションを主体としたアクティブラーニングを大幅に取り入れた教育プログラムを麻酔科臨床実習をモデルとして開発している。
	(3) 前年度までの状況	アクティブラーニングに必要なe-ラーニングコンテンツの作成を行い、学生ボランティアを対象にプログラムの一部のトライアルを2回試行した。
	(4) 当該年度内の進捗	プログラムとe-ラーニングの内容のブラッシュアップを行い、本テーマで平成29年度科学研究費助成事業に応募した。
	(5) 翌年度の方針と予想	平成29年度科学研究費助成事業(基盤C)に採択され、本テーマの研究を本格的に開始する予定である。本年度は再度学生ボランティアに対しトライアルを試行し、問題点の洗い出しと改善に努める予定である。
2	(1) 研究・開発等のテーマ名	口腔細菌による出血性脳疾患の病態解明
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	口腔細菌の感染によって直接的に脳出血を発症・悪化するかどうかについて動物モデルを作製し、MRIによる観察によって病態生理を検証し、in vitro培養細胞を用いた系で分子メカニズムを明らかにすることを目的とする。

3 論文, 症例報告, 著書等

	平成28年度
(1) 原著論文数(うち和文のもの)	1編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	2.134
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3) 総説数(うち和文のもの)	1編 (1編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4) 著書数(うち和文のもの)	3編 (3編)
(5) 症例報告数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

(1) 原著論文

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

論文数(A)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1. Iwaki T, Mizuma H, <u>Hokamura K</u> , Onoe H, Umemura K. [18F]FDG Uptake in the Aortic Wall Smooth Muscle of Atherosclerotic Plaques in the Simian Atherosclerosis Model. Biomed Res Int. 2016;2016:8609274. doi: 10.1155/2016/8609274. Epub 2016 Dec 22.	2.134

論文数(B)小計 1 うち和文 0 IF小計 2.134

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

論文数(C)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

(3) 総説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.		IF
1.	五十嵐寛: 成人教育と授業設計の観点から今後のセミナーを考える, 日本臨床麻酔学会誌 36,3, 339-344, 2016.	0.000

総説数(A)小計 1 うち和文 1 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

総説数(B)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

総説数(C)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

(4) 著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

著者: タイトル, 出版社名, 巻, 初頁-終頁(頁数), 発行年.		IF
1.	五十嵐寛: 短期研修医に何を学んでもらうか?, 気道管理に強くなる. 羊土社, 217-221, 2016.	
2.	五十嵐寛: 患者評価や鎮静・鎮痛法について, 鎮静・鎮痛Q&A. 羊土, 71-75. 2016.	
3.	五十嵐寛: 換気・挿管困難, 麻酔科医のための周術期管理と合併症への対応, 中山書店, 125-133. 2016.	

著書数(A)小計 3 うち和文 3

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

著書数(B)小計 0 うち和文 0

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

著書数(C)小計 0 うち和文 0

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0 件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0 件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	0 件	0 万円
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	0 万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0 件	0 万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0 件	0 万円
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	0 万円
(6) 財団助成金	0 件	0 万円
(7) 受託研究または共同研究	1 件	810 万円
(8) 奨学寄附金	0 件	0 万円

(7) 受託研究または共同研究

1. バクスター(株)、シミュレーションアカデミー、吸入麻酔剤:デスフルランのシミュレーションプログラム	810万円
--	-------

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0 件	1 件
2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
3) 学会座長回数	0 件	2 件
4) 学会開催回数	0 件	1 件
5) 学会役員等回数	0 件	5 件
6) 一般演題発表数	0 件	

(2) 国内学会の開催・参加

1) 学会における特別講演・招待講演

1. 五十嵐寛、国内における医療系シミュレーション学会の動向、第4回日本シミュレーション医療教育学会学術大会、浜松市、平成28年9月24日

3) 座長をした学会名

1. 五十嵐寛、第4回日本シミュレーション医療教育学会学術大会、浜松市、平成28年9月24日
--

2. 五十嵐寛、第12回日本医学シミュレーション学会学術集会、出雲市、平成29年3月18-19日
--

4) 主催した学会名

1. 五十嵐寛、大会長、第4回日本シミュレーション医療教育学会学術大会(浜松市)平成28年9月24日、180名

5) 役職についている国内学会名とその役割

1. 五十嵐寛 日本医学シミュレーション学会 理事 日本シミュレーション医療教育学会 評議員 日本ペインクリニック学会 評議員 日本ペインクリニック学会東海地方海 評議員 日本シミュレーション医療教育学会 理事
--

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1) 外国	(2) 国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	1 件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	1 件

1. バクスター(株)、シミュレーションアカデミー、全身吸入麻酔剤:デスフルランのシミュレーションプログラム
--

11 受賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績